= 16
2505
2

門 二 16
號 2505
卷 2

昭和25年10月6日寄
林欽吾氏贈

百科全書

人種篇下

秋山恒太郎 譯

身體骨骼ノ差異ヲ論ス

皮膚

黒人種ハ熱帯ノ地方ニノミ住スルモノニシテ其皮膚身體能ク此氣ニ適スルモノナリ今若白皙人種ヲシテ太陽直下酷熱ノ地ニアラシメハ其皮膚膨脹シテ身體疲勞シ遂ニ動作ヲ為スニ堪ヘザル可シ然ルニ黒人種ハ酷熱ノ地ニ在テ皮

膚身體ヲ損害セス百事平常ト異ナルヿナク其勞動ヲ為スヿヲ得ベシ方今米利堅大洲田歸線間ノ歐羅巴殖民地ニ亜弗利加大洲ヨリ奴隷ヲ輸入スルハ此等ノ理アルヲ以テナリエブレード、ホーム氏嘗テ黑人種ノ能ク炎熱ニ堪フル所以ノ理ヲ考索セシニ究理學上ノ實驗ニヨレハ黑皮膚ハ白皮膚ヨリ多量ノ熱ヲ吸入セザルヿヲ得ス故ニ其說ヲ為スニ甚窮セリ然レ𪜈其後ドクトル、ジョン、ダビー氏黑膚ハ熱ヲ蒸發スルヿ甚速カナルヿヲ發明セリ其說ニ黑人種ハ造化

ノ妙用ニテ體熱ノ蒸發ヲ盛ンニセンガ為メニ血液ノ脉管ニ由テ運行スルヿ白皙人種ヨリ迅速ナル故ニ身體ノ外部ナル皮膚上ニ凉氣ヲ生ジ而シテ運行ノ後再ヒ心臟ニ復リテ其内部ニ凉氣ヲ送ルモノナリト英國ニューカスル府ノドクトル、グローブル氏此說ヲ採鈔シ其後ニ記シテ曰ク田歸線間ニ住スル諸民若此ノ如キ機關ナクハ血液常ニ體外ニ洩レントスルニ因テ其劇熱ニ耐ザル可シ且此黑皮膚ハ其吸入セル熱ヲ速カニ蒸發シテ内部ニ鑽入スルヿナカラシムル者

ナリト故ニ黒皮膚ニ熱ヲ放出スルカアルハ身體ヲ冷凉ナラシムルニ甚ダ切要ナルモノトス加之黒人種ノ酷熱ノ地方ニ安居スル一ヲ得ルハ黒皮膚ハ夜間ニ於テ其身體ニ吸入セル熱ヲ全ク放出セシムルニ由ルナリ故ニ黒人夜間ニ當テハ同地ニ住セル白皙人ヨリモ却テ身躰ヲ冷寒ナラシム蓋常ニ夜間ニ於テ蹈舞ヲ為シ職業ヲ營ム一ヲ欲スルニハ全ク此理ニヨルナリ

皮膚ハ真皮「イピデルミス」「クチーク(スキン)ル」、「スカルフ」ヨリ成ルモノナリ但「クチーク(スキン)ル」ノ下層ニ在ル真皮(クチスベラ)ハ何レノ種族ニ於テモ血管充實シテ感覺(ヒンミチーク)ノ性アリ身體健強ナル人ノ面部赤色ナルハ全ク此血管ノ多クシテ「クチーク(スキン)ル」上ニ顯ハルヽニ由ルナリ若シ「クチーク(スキン)ル」厚キカ又ハ透明ナラザルトキハ血管ヲ見ル一能ハズ然ルトキハ其皮膚青白色ヲ帶ルナリ

「イピデルミス」ハ真皮ヲ蓋ヒテ之ヲ保護スルモノニシテ他皮ノカヲ借ラザレハ感覺ノ性ナク且血管ヲ備フル一ナシ而シテ許多ノ參差錯雜ナル層積ノ集合セシ平扁ナル細胞躰(ヤルツ)ヨリ成ルモ

ノナリ此細胞躰ハ真皮上ニ注射セル胚種（沾液プラスマ）ノ一種ナルヨリ興リ始メハ其形チ圓ク軟輭ニシテ（カホ詳）濕ヒアル肉ト共ニ核子（ミクリー）ヲ保ツ然ル後層下ニ漸々凝結ヲ生シ遂ニ皮膚ニ達スル迄最初ニ成レル層積ヲ送リ出ス此ノ如クスル間ニ於テ初メ形ヲ變シ薄クシテ錯雜平扁ノモノトナリ其核子ノ過半ヲ消シ遂ニ片形ニテ之ヲ外部ニ顯ハスニ至ル此細胞躰皮膚面ニ近ツクニ從テ其形質ヲ變シ獸角ノ如キ透明質トナリテ其下層ナル軟輭ニシテ甚ダ透明ナラザル新部ト區別スル

「ヲ得ベシ此下層ヲバ一時ハ細胞躰ト別種ノ者トナシ之ヲ粘液綱（レートモスコスス）ト名ツケシモノナリ「クチークル」中ナル許多ノ細胞躰ハ能ク色彩（ピグメント）ヲ保ツモノニシテ白皙人種ノ如キモ尚ホ多少ニ拘ハラス鳶色ナル膜ヲ保タサルヿヲ得ズ蓋シ黑人種ノ皮膚ノ黯黑ナルハ全ク此「クチークル」ノ膜ノ色彩ノ然ラシムル所ナリ此色彩ノ有ル所ハ重モニ粘液綱ト名ツクル深遂ナル下層ニ在リ而メ皮膚面ニ近ツクニ從テ漸次ニ其色ヲ減消セシモノナリ然ルニ外皮上ト雖モ全ク其色ナ

キニハアラス多寡ノ色彩ヲ有スルナリ黒人種ノ黒色甚シキハ如何ナル裝置ナルカヲ知ラン為ニ古ヨリ百般査究ヲ為スト雖モ遂ニ之ヲ發明スルヿヲ得ス蓋シ此黒色白色ノ區別アルハ黒白二種ノ色アリテ然ルニ非ズ只其固有セル色彩ノ多寡ニヨリテ然ルモノナリ又同種族中ニ於テモ其色大ニ差異アリドクトル、モルトン氏ノ説ニ米利堅土人通常ノ皮膚ハ銅赤色ヨリハ鳶色即チ肉桂色ナリト雖モ亦大ニ差異アリテ純白色ノモノアリ純黒色ノモノアリ又此一色間ニ在ル諸般ノ色彩ナルモノアリテ一定セズ是故ニ人類皮膚ノ色ハ全ク細胞躰上ニアル色彩ノ度ノ多寡ニヨルモノナルヿヲ知ルベシ此純白色ナル土人ノ住スル地ハ就中南米利堅洲ノ北部ノ高原ニ在リ

毛髮及眼目

毛髮ハ「イピデルミス」ノ舒長セルモノニシテ其性質概ネ此「イピデルミス」ノ膜ニ同ウシテ脉胳神経ナク全ク真皮トハ異ナルモノナリ而メ其根ヲ毛孔トカックル皮底ニ託シテ此ヨリ滋養ヲ

受ク其色彩ヲ得ルノ理ハ上ニ論ゼシ「クチーク
ル」ノ理ト同シ然レ𪜈其色彩ハ「クチークル」ノ細
胞躰ニアル如ク毛髓上ニ付クモノニアラズ其
故ハ毛髪ノ著シルシキ髓孔有ルハ少許ノ毛髪
ノ外之ナキヲ以テナリ○毛髪ノ黑色忽チ班白
ニ變ズルハ或ハ年齡ヲ積ムニ由リ或ハ悲哀ノ
甚シキニヨレリ然レ𪜈其理論今ニ至リテ未ダ人
意ヲ滿足セシムル能ハス
眼目ノ或ハ綠色或ハ灰色或ハ鳶色或ハ榛色或
ハ黑色ナルアリ此等ハ皆脈絡膜上ニアル色彩

ニ因テ起ルモノナリ然ラハ則チ毛髪ト眼目トノ
色彩ヲ生スル理ハ猶「クチークル」ノ細胞躰ニヨ
リテ皮膚ニ色彩ヲ生スルガ如シ故ニ眼目ト毛
髪及ト皮膚トノ色ニ自然ノ同理アリテ互ニ相離
レズ大抵始終變易ナキヿヲ推知スベシ譬ヘハ
今爰ニ眼目茶褐色ニシテ光澤アル人アランニ
大抵其皮膚モ亦必ズ美麗ニシテ光澤アリ毛髪モ
亦光彩アリテ茶褐色ナルモノナリ斯クノ如キ
說ヲ以テ一般ニ是ナリトスト雖𪜈又一二例外
ノモノアリ是亦衆人ノ知ル所ナリ蒙古種「イチ

ヲピ」種、馬来種、米利堅土人種、ノ如キ百人ニシテ九十九人迄ハ必ス毛髪、皮膚、眼目ノ色ニ自然ノ一致アリテ其定則ニ違フヿナシ然レ氏高加索人種ニ於テハ大ニ差異アリテ一定セズ之ヲ例外ノモノトス

宇宙各國ニ住スル白癜人（ビノイス）ハ一種ノ病者ニシテ之ヲ種族ト為ス可ラス其属スル所ノ種族ニヨリテ小異アリト雖氏概シテ云フ片ハ目色赤クシテ毛髪白シ目色ノ赤キハ脉胳膜上ニ色彩ナクシテ血管直ニ見ル可キニヨルナリ此ノ如ク脉胳膜上ニ色彩ナクシテ光線ヲ吸入スヘキカ乏シキガ故ニ其眼勢甚微弱ナリ黒人種中ノ白癜人ハ白色ニシテ粗ク卷縮セル毛髪アリ而メ皮膚白色ヲ帯フ故ニ之ヲ名ツケテ白色黒人種（ホワイトネゴロ）ト云フ「リアン」峽ノ銅色人種中ニハ白癜人甚多ク其身躰白クシテ牛乳ノ如ク細短ナル軟毛多クシテ毛髪ハ白ク目色ハ赤シ常ニ月光ノ如キ光ヲ愛シテ生業ヲ営ムニ夜間ヲ以テス蓋晝間ニ於テハ太陽ノ光線烈クシテ其微弱ナル眼勢之ニ堪ヘズ常ニ涕淚アリテ其瞼眶ヲ濕スヲ

以テナリ此白癜人ノ一種特異ノ性質ヲ見ルトキハ皮膚毛髪眼目ノ間ニ必ス自然ノ同理アリテ相離レザルヿ及ビ此三ツノ者ノ色彩ヲ生ズルノ理判然タル可シ

頭顱

人種ノ殊別ニ隨テ頭顱ノ形モ亦差異アリ其區別ヲ示スヿハ既ニ上ニ論ズルガ如シ今爰ニフルーメンベックノ定メタル五種族ノ頭顱ノ大小ヲ比較セン為ニドクトル、モルトン氏ノ五種族ノ頭顱ヲ集メ胡椒子ヲ用ヰテ其大小ノ量ヲ計リタル表ヲ擧ルヿ下ノ如シ

種族	頭顱ノ愨數 立方インチヲ以テ計算シタル頭顱內部ノ量ノ中算	頭顱中ニテ最大ナルモノ	頭顱中ニテ最小ナルモノ
高加索人種	五十二	八十七	百零九	七十五
蒙古人種	十	八十三	九十三	六十九
馬來人種	十八	八十一	八十九	六十四
米利堅土人種	一百四十七	八十	一百零々	六十
亞弗利加人種	二十九	七十八	九十四	六十五

此頭顱ノ大小ニ依テ各種族ノ賢愚鋭鈍才不才ノ別ヲ知ル可シ、

ドクトクブリヤルドノ說ニ頭顱ノ形ハ種族ノ

殊別ヲ顯ハスヨリモ開化進歩ノ徴候ト為スヘシト云ヘリ但彼此ノ種族ニ付テ瑣々タル箇條ヲハ精密ニ査究スルヲ要セス甚簡易ナル方法ヲ以テ野蠻ニシテ狩獵ヲ業トスル種族ト牧畜遷移スル種族ト開化文明ニシテ才智ノ超越々ル種族トヲ其頭顱ノ形及身體骨骼ノ模様ニ隨テ三種ニ分テリ第一ニハ山野ニ住テ狩獵ヲ業ト為ス野蠻種ニシテ恒産ナク且耕耘ヲ務ムルヿヲ知ラズ只鳥獸ヲ捕ヘ或ハ地上自然ノ産物ヲ採テ食トナス其頭顱ノ形ハ「ブログナリス」ニシテ顎骨突起廣張ス乃チ下流劣品ナル亜弗利加野蠻及澳太利土人等皆此種ニ屬ス第二ニハ親族ヲ携ヘ家畜ヲ牽キ大漠廣野ヲ踰エテ漂泊遷移スル種族ト氷海ノ邊ニ於テ奔竄移住ヲ事トシ其食物或ハ漁獵ニ由リ或ハ馴鹿ヲ用ヰル種族ト是ナリ其頭顱ノ形廣濶ニシテ尖形ナリ前ニ云フ所ノモノト同ジクラズ方今之ヲ「ピラミダル、スクル」ト云フ即チ尖形頭ノ義ナリ第三ニハ食物ハ耕耘ニ由テ之ヲ得生活ノ術甚巧ニシテ才智學術大ニ進歩セル歐羅巴及亜細亜ノ人

民ニシテ頭顱ノ形楕圓ナルモノ即是ナリ方今風俗生計ヲ變シタル種族ニ於テハ其頭顱モ亦漸次ニ其形ヲ變シテ遂ニ別ニ一種類ヲ為シ其例多シ上ノプリチャルドノ説ニ據レハ頭顱ノ形ハ風俗生計ニ隨テ變ズルモノナレバ畢竟頭顱ハ種族ノ殊別ヲ査究スルヨリモ寧開化進歩シテ風俗生計ノ善良ニ赴キタル等級ヲ徵スベキモノナリ

南北米利堅大洲ノ土人ハ額ノ低平仰斜ヲ愛スルモノ多クシテ遂ニ壓搾ヲ以テ天賦ノ形ヲ變シ額骨ヲシテ低平仰斜ナラシムルニ至ル是又茲ニ記載セサル可カラズ蓋赤子初生ノ時之ヲ長者ニ比スレバ其骨柔軟ニシテ腦蓋ノ合縫部（クラニアルスチュールス）稍動カスヿヲ得ベシ是両米利堅人ノ壓搾變形ノ事ヲ為ス所以ナリラベットト云者カリビーン諸島ニ赴キシトキノ説話ニ「カリブス」（カリビーン）諸島ノ住民ハ其身躰骨骼甚ダ均勻シテ形狀甚ダ愛スベシ然レトモ額骨ニ至テハ極メテ低平ニシテ殆ド不具ノ如シ此人民ハ初生ノ時自然ニ此ノ如キ形ナルニハアラズ其家親此形ヲ為サン為メニ孩兒ノ前

額ニ平坦ナル小木片ヲ著ケ後面ニ於テ固ク結ビ額骨低平殆ド頭ヲ仰ガスシテ鉛直ニ天ヲ見ルニ至ル迄此小木片ヲ除キ去ラサルニ由テ生来額骨低平仰斜ナルモノ益其低平仰斜ヲ大ニシ人ヲシテ驚異セシムルニ至リ而メ頭顱ヲ更ニ後部ニ膨起セシメ腦液又遂ニ其膨起ノ處ニ遷ル程ニ至レルナリト或ル生理學者此頭顱ノ形ヲ變スルヿヲ疑フト雖モ上ニ云フ所ニ據レバ其然ル所以ハ疑フ可ラスモルトン氏ノ「クラニアメリカナ」ト題スル書中ニ此形ヲ變シタル頭顱ノ圖數多ヲ載セタリ其中ニ前後ヨリ壓搾スルニ據テ恰モ半月形ヲ為セル程ニ大ナル變化ヲ受シモノアリ然レモ斯ノ如ク天賦ヲ枉ケテ頭顱ヲ變スルヿハ必ス其才思ト健康トニ害ヲ生ス可シト決言スルヿ能ハズ其故ハ若壓搾急緊ナラズシテ緩徐ナルトキハ孩兒ノ柔軟ニシテ未固定セザル頭顱能ク之ニ適シ且損害ヲ受スシテ腦液モ亦元ノ如ク減スルヿナカルベキヲ以テナリドクトル、レーチ氏ノ所有セル頭顱ノ中ニ非常ノ壓搾ヲ受ケシモノアリ是其多才

深智ヲ以テ名アル「カリブ」ノ魁首ノ頭顱ナルベシ

身軀ノ割合（スチーチュール）（プロポルション）

彫像家常ニ其模範トスル希臘古像ノ長ケ恰好ヲ以テ方今宇宙間ニ在ル人類中ノ最美麗ナルモノト為ス然レ𪜈上ニ云フ如ク人ノ好悪甚同シカラス且身體ノ力モ風俗ニ因テ大ニ變化スルモノナレバ若此希臘ノ古像ヲ以テ總人數ノ長ケ恰好ヲ計算スル標準（スタンダード）ト為サバ是ヨリ種々ノ異説ヲ生ジ且一二ノ種族ノ長ケ恰好ヲ以テ

實ニ例外ノモノトスルニ至ルベシ然レ𪜈所謂例外ナル種族ニモ亦最上等ナル種族ニ等シキ身體ノカヲ所有セリ譬ヘハ「ホッテントット」及米利堅土人ノ如キハ其走ルヿ野獸ヨリ速カニシテ常ニ能ク麋鹿ヲ捕フ又英人ノ「アッヘシ子ート」ト喚做セル柔弱ナル印度人ハ能ク數日ノ間馬上ニアルヿヲ得ベシ又南海群島ノ住民ハ舟舸ヲ覆沒セントスル激浪中ニ在テ猶家室ニ坐スルガ如シ然レ𪜈此種族ハ皆希臘人種ト異ナルモノナリ此ノ如キ實跡ヲ見レバ身躰ノカハ特リ

希臘人種ノミ勝レタルニ非ザルヿ瞭然タリ蓋シ希臘種ノ人若教導習慣ノ度同シキトキハ上ニ云ヘル山野ヲ奔走シ馬上ニ久耐シ舟舸ヲ駛操スル等ノヿ他ノ種族ニ超越スル所アラン

各種族ノ長ケ恰好ノ差異ハ一家族中ニ在ル差異ノ如ク甚シカラスト雖モ亦頗ル大ナルモノナリ現今地球上身軀最高ノ種族ハ南米利堅洲ノリオ、デ、ラプラタ河トマゼルラン峽ノ間ノ海邊ニ住スル「パタゴニア」種族ナリ此種族ノ住スル地方極メテ廣ク且其風習ニテ常ニ遷移ヲ事

トセリ然レモ此人民ノ事ヲ記スル者ノ説大ニ異ナリマゼルラン（葡萄牙人）ノ社中ハ「パタゴニア」人ヲ記シテ其高サ英尺七「ピート」四「インチ」以上ノモノト為セリコモドル、バイロンモ亦其社中ト共ニ此種族七「ピート」以下ノモノハ實ニ少ナクシテ或ハ七「ピート」ヨリ數「インチ」高キモノアリト云ヘリ又バイロンノ説ハ其身殆ド六「ピート」ノ高サナリト雖モ足ヲ跂テ、僅カニ此種族ノ酋長ノ頭顱ニ接スルヿヲ得タリト又カピテーン、ワルリスハ「パタゴニア」人過半ハ五「ピート」

十「インチ」ヨリ六「ピート」ノ高サニシテ六「ピート」七「インチ」ノモノヲ見ル丁只一人ナリト云ヘリ然レトモ是皆恐ラクハ異種族ヲ査究セシモノナラン近来西班牙人精密ニ其高サヲ測リシニハ「タゴニア」種族ノ中筭ノ高サ六「ピート」半ヨリ七「ピート」ノ高サアリト是ニ由テ考ルトキハ假令此筭計ヨリ短小ナルモ地球上最高ノ人ト為スベシ此地ニ遊歴スル諸人モ以為ラク此種族ハ身軀ノ長大ナルニ準シ肥大ニシテ且強勁ナルベシト

北氷圏ニ住スル人民ハ上丈ノモノニ反シテ地球上ノ身軀最モ短少ナルモノナリ「エスキモー」人種中ナル一二族ノ過半ハ其身軀ノ高サ僅カニ四「ピート」或ハ五「ピート」ノ間ニアリ又其種族ノ支派ナル「ラプランド」人種「イチオピック」種モ亦極メテ矮短ナリ就中「ブスゼスマン」ノ如キハ其短小ナルヿ之ヲ不具ト云フモ可ナリ米利堅種中ニ於テモ亦身軀短小ノモノアリパタゴニアノ隣地ナルチルラ、デルヒューゴノ土人ノ如キ是ナリ

上ニ言フ所ノ人民ハ身軀ノ長短ニ付テ何レモ其極度ヲ顯ハスモノナリ而シテ此等ノ項ハ宜シク精密ニ査究スベシ都テ各種族及ビ各國人民ノ長ケ恰好ヲ互ニ比較シ之ヲ中筭シテ其差異ヲ知ルハ甚ダ切要有益ノコトナレドモ究理學者未タ全ク其査究ヲ盡サスクエートレット氏及ビ其他ノ諸子嘗テ人類生長ノ概畧ヲ定メン為メニ一ノ國民中ニ付テ年齡ノ長少ニ隨テ身ノ長ケ何レカ高キヤヲ精究セリト雖ドモ各種族或ハ各國人民ノ長ケ恰好ヲ比較査究セシコトハ甚ダ稀ナリ方今歐羅巴人種、蒙古人種、黒人種、米利堅土人種等ノ身軀ヲ精密ニ比較スルコトヲ又其種族中ニ属スル所ノ甲國民ト乙國民トヲ計筭スルコト等皆未タ十分ナラスシテ日耳曼人種ト西班牙人種ヲ比シ英吉利人種ト佛蘭西種ヲ較ベ其他歐羅巴ノ諸種ヲ互ニ比較セシコトナシ次ノ表ハラウレンシ氏ノ著ハセル「ナチュラル、ヒストリー、オフ、メン」ノ中ニ載スル所ニシテ只絶カニ英人ト黒人ヲ比較シテ得タル高サヲ示スノミ但シ此黒人種ハ諸方ヨリ集メシモノニシテ一所ヨリ取リシニハ

アラス

	英吉利人種	
身ノ長ケ	六「ヒート」四「インチ」二分ノ一	六「ヒート」一「インチ」
ノ高度	六「ヒート」零「インチ」	五「ヒート」九「インチ」二分ノ一
	五「ヒート」七「インチ」	五「ヒート」四「インチ」二分ノ一
	五「ヒート」零「インチ」	

	黒人種	
身ノ長ケ	五「ヒート」十「インチ」二分ノ一	五「ヒート」五「インチ」二分ノ一
高度	五「ヒート」八「インチ」	五「ヒート」零「インチ」
	五「ヒート」七「インチ」二分ノ一	

此表ニ於テハ中筭シテ英吉利人ノ身ノ長ケ五「ヒート」九「インチ」ニシテ黒人種ノ身ノ長ケ五「ヒート」六「インチ」ナリ故ニ英人ノ身ノ長ケ黒人ニ比スレバ高シ假令此表ノ第一ニ記セル英人ノ異常ナル高サヲ除キテ筭シタリモ亦英人ノ黒人ヨリ高キヿハ必然タリ然レモ此ノ如キ僅々數人ノ比較ニテハ十分ナル確説ヲ成ス能ハザル可シ近來亜弗利加洲ニ周遊セル人ノ説ニ亜弗利加人種中ニ於テモ「ブスメン」種ノ如キ一種特異ノ種族ノ外ハ其身ノ長ケヲ中筭シテ歐

羅巴人ノ高サニ劣ラサルヿヲ見ルニ至レリ但シ歐羅巴國民中ニハ他ノ各種族又ハ他ノ各國人民ノ内ニ異常ノ短矮ナル種族國民アルカ如キ差異ナキヿハ明カナリ

ラヘロース氏ニ陪從セル外科ミストル、ロルリント云者純粹ノ蒙古種族ナル支那人ノ身軀ヲ精密ニ筭セシニ支那ノ東邊ニアルチオカ島ノ住民ハ通常ノ高サ佛蘭西尺五「ピート」英國ノ一「フート」ノ一「フート」零六六ト同シ「ピート」ハ佛國ニシテ此島ニ近キ支那ノ大地ニ住セル人民ハ佛蘭西尺四「ピート」十「インチ」ナルヿヲ証セリ此計筭ニ據ルトキハ純粹ノ支那人ヲ中筭セル高サハ歐羅巴人ヲ中筭セルモノヽ下ニ位セザルヿヲ得ス而メ支那人ノ外他ノ蒙古種ハ未ダ精密ナル査檢ヲ受シヿナシ然レトモ蒙古種ノ中ニモ亜弗利加種ノ如ク異常短矮ノ種族アルヿ歐羅巴中ニ短小ノ人民アルヨリハ甚シ亜細亜ノ「エスクヱモー」種「ピシス」種等ヲ見テ此説ノ允當ヲ知ルベシ

米利堅ノ種族ニ於テモ亦身軀大小ノ差異甚シクシテ或ハハダゴニアノ如キ長人アリ或ハチ

ルラ、デル、ヒューゴノ如キ矮人アリテ全洲ノ各種族ヲ比較シテ中筭ノ高サヲ定ムルハ益ナク又其憑據ト為スベキモノヲ求ムルニ旅人ノ漫記セル浪説ノ外更ニ正シキ載籍アルナシ馬来種ニ於テモ亦然リ故ニ米利堅馬来等ノ種族ノ中ニ付テ之ヲ比較セントスルヲ企ルハ空ク時日ヲ費ヤスノミニシテ益ナシ然レドモ理ヲ以テ之ヲ論セハ開化ニ隨テ人類ノ身ノ長ケ一様ニ歸シ殆ト中等ノ高サヲ得テ遂ニ之ヲ保全ス可ト云フ一確説ヲ定ムルヿヲ得ヘシ

イヂンボルフノ學頭ホルブス氏ハ英吉利蘇格蘭阿爾蘭白耳義人等ノ身躰ノ差異ニ付テ久シク査究ヲ為セリ此査究ノ成課ハ歐羅巴種族ノ高サヲ相比較シタルモノニ於テ最緊要ナルモノナレハ之ヲ讀者ニ示サヾル可ラズ但左ニ掲ル所ノ表ハ即チホルブスノ記ス所ニシテ數年間始終隨從セル英吉利蘇格蘭阿爾蘭等ノ學生ノ身ノ長ケヲ年々比較計筭セシモノナリ白耳義人ノ計筭ハ蓋シ他ノ方法ニ由テ行ヘルナラン此計筭ノ時ニ聚リタル人數甚タ多クシテ蘇格蘭人

八十名英吉利人三十名ヲ一回ニ計算セシ[illegible]リ

靴ト共ニ測リタル全身ノ高度表

年齢	英吉利人	蘇格蘭人	阿爾蘭人	白耳義人
十五歳	六十四「インチ」七	六十四「インチ」七	〃	六十「インチ」八
十六歳	六十六「インチ」五	六十六「インチ」八	〃	六十四「インチ」二
十七歳	六十七「インチ」五	六十七「インチ」九	〃	六十六「インチ」一
十八歳	六十八「インチ」一	六十八「インチ」五	六十八「インチ」七	六十七「インチ」二
十九歳	六十八「インチ」五	六十八「インチ」九	六十九「インチ」四	六十七「インチ」七
二十歳	六十八「インチ」七	六十九「インチ」一	六十九「インチ」八	六十七「インチ」九
廿一歳	六十八「インチ」八	六十九「インチ」二	七十「インチ」	六十八「インチ」
廿二歳	六十八「インチ」九	六十九「インチ」二	七十「インチ」一	六十八「インチ」一
廿三歳	六十八「インチ」九	六十九「インチ」三	七十「インチ」二	六十八「インチ」二
廿四歳	六十八「インチ」九	六十九「インチ」三	七十「インチ」二	六十八「インチ」二
廿五歳	六十八「インチ」九	六十九「インチ」三	七十「インチ」二	六十八「インチ」三

此表ニ於テ身軀最モ高キモノヲ阿爾蘭人トナシ次ヲ蘇格蘭人トナシ又其次ヲ英吉利人トナシ白耳義人ヲ最モ矮キモノト為ス然レトモ爰ニ擧ル所ノ人民學生タルヲ以テ一種特異ノ形チアリトセバ彼此共ニ然ラサルヲ得ズ是ヲ以テ此

比較表ハ實ニ允當ト為ス可シ故ニ各國人民身軀長短ノ比較ニ於テハ此表ヲ以テ的確ナル定說ヲ示スモノトナスベシ此ニ擧ゲタル阿爾蘭、蘓格蘭、英吉利、白耳義ノ人民身軀長短ノ次序ハ其重量及ビ強力ノ比較ニ於テモ亦同シクエートレット氏嘗テ其著ス所ノ「ウヲルタ、オボン、メン」ト稱セル書中ニ英ノ製造所ニアル兒童ノ事ヲ記セルニ曰ク英國ニ於テ此品位（製造所ノ兒童ノ等級ヲ指スノ人ヨリ貴キ品位ノ人ニ付テ比較ヲ為スニ十八歳ヨリ廿三歳迄ノ人ハ佛蘭西及ビ和蘭地方ノ人民ヨリ高キモノアリト此說ニ依テホルブス氏ノ記スル所ノ的確ヲ定ムベシ又クエートレット氏「カムブリッヂ」學生十人宛ヲ一團トナシテ都合八十回ノ測筭ヲナシ其中筭ノ高サヲ一團五十八「ヒート」即チ一人五「ヒート」九「インチ」五分ノ三トナセリ此計筭ニ據レバ其高サホルブス氏ノ中筭セシモノニ踰エタリ然レドモ英國ノ大學校ハ常ニ通常ノ人民ヨリ身軀長大ナル貴族多ク聚ル所ナレハ其全國人民中筭ノ高サノ比較ニ於テハ蓋シホルブス氏ノ表其實ニ近カラン

上ノ表ニテハ白耳義人ノ外ハ廿二歳ニ至リテ生長止ムナリ○クエートレット氏又嘗テ府下ノ住民十九歳ナルモノ三千五百餘人ト田舍ノ民同歳ノモノ六百餘人ヲ集メ大ニ心力ヲ勞シ其身軀ノ長短ヲ査檢セシニ都下ノ住民ハ田舍ノ住民ヨリ高キ「エ」「センチメートル」乃至三「センチメートル」ナリ是ニ於テ身軀ノ長短ハ全ク都下ニ住スルト田舍ニ住スルトニ由テ差異アリト云フ說ヲ為セリ而メ此說ハ必ス允當ニシテ地球上ニ何レノ處ニ於テモ皆此說ヲ是ト為サン

然レトクエートレット氏ノ說ニ都下人ハ田舍人ヨリ高シト云フハ特ニ十九歳ノ人ニ付テ云フノミ又クエートレット氏ハ自カラ確証ヲ得ルヿ能ハズト雖トモ田舍ノ住民生長止息ノ期ニ至ル迄ハ必ス都下ノ人ヨリハ長大トナルヿヲ得ベシト為セリ如何トナレハ保存養育ノ模様ニ隨テ大ニ其生長ノ度ヲ變スルモノナレバナリ○クエートレット氏此生長自然ノ定則ヲ窮メテ曰ク凡ソ人類初生ノ數月前ヨリ十分ニ生長スル迄ハ身軀長大ト為リ而ノ後其生長ノ度漸ク減ズル

ニ自カラ定則アリテ萬古不易ナルモノト為ス乃チ孩兒初生ノトキヨリ其年ノ終ル迄ニ其大サ五分ノ二ヲ益ス第二年ノ後ニハ七分ノ一（前年ノ生長ヨリ筭スル分数ニシテ全身ノ長ケヨリ筭スルモノニアラズ以下之ニ倣ヘ）第三年ノ後ニハ十一分ノ一第四年ノ後ニハ十四分ノ一第五年ノ後ニハ十五分ノ一第六年ノ後ニハ十八分ノ一ヲ増ス斯ノ如ク其生長ノ割合初生ノトキヨリ年々遞次ニ減ズルモノナリト雖ト生長自然ノ定則ハ概ネ此ノ如シト雖ト保存養育ノ模様ニ因テ大ニ其割合ヲ異ニスルモノナリクエートレッド氏又曰クドクトル、ビルレームノ説ニ凡ノ人類此ト彼ト其住國経緯度等ノ模様同シト雖ト此レ彼レヨリ富テ幸福ヲ受ルヿ甚タ多ク且衣食住甚タ義ニシテ幼時勞役欠乏ノ憂少ナキトキハ其身軀ノ長大彼レニ勝リ其生長モ亦彼レヨリ迅速ナルベシ之ヲ約言スレハ身躰十分ニ生長シ筋肉固定スル迄困難ヲ受ケザルトキハ身軀ノ長大モ生長ノ迅速モ彼ノ困難ヲ受ルモノニ踰ユルニノナリ此説ノ確實ナルヿ決シテ疑ヲ容ルヿ可ラス他ノ困難ハ暫ク置テ言ハズ特ニ酷烈ナル寒威

ハ必ス人ノ生長ヲ妨グ此例ハ地球上寒威酷烈ナル地方ニ於テ見ルベシ而ノ温暖繁盛ノ都府ニ於テハ下流劣品ノ人民ノ外ハ総テ人類甚ダ速ニ生長スルモノナリト夫レクエートレットノ説ノ如ク許多ノ幸福ヲ受シ人ハ概シテ其身ノ長ケ中等ニ踰エ非常ノ労役ヲ為ス者ハ身躰ノ生長ヲ妨グルニ似タリト是亦方今英國ノ貴族ヲ見テ知ル可シ

人身ノ重量

人類身軀ノ割合ト其強力ト其重量トハ皆全躰ノ一部分ニシテ決シテ相離レザルモノナリ故ニ假令人此三者ヲ以テ同躰ノモノニ非スト為スト雖モ其相關スルヿ甚切ニシテ必ス竝ヒ立ザルヿヲ得ザルモノナリ理學者ノ能ク注意シテ各人種身躰ノ重量ヲ筭定センヿ甚希望スル所ナリ然レモ重量モ亦上文ノ長ケ恰好ノ割合ノ如ク只些少ノ査究ヲ為シシノミナリクエートレット氏嘗テ或ル一國内ノ諸方ニ住メル人民ヲ取リ其年齢ヲ加フルヿ毎ニ其重量ヲ査検セリ然レモ未タ蒙古人種、高加索人種、米利堅土人種、黒人

種等ノ重量ヲ比較スルニ至ラス但シ此ノ如キ査
検ヲ為ストキハ隨テ大ニ困苦セサルヿヲ得ザル
ハ實ニ疑フヿヲ可ラス或人ノ説ニハ此ノ如キ査検
ヲナスハ實ニ無益ナリト此説非ナリ都テ躰力
ヲ用ヰル職業就中戰鬪ニ於テハ身躰ノ重量甚
切要ナルヿ方今常ニ目擊スル所ニシテ明カナ
リ今若彼此其模様ヲ同ウスルトキハ身軀ノ重キ
モノ其輕キモノニ勝ルヿ必ス疑フ可ラズ嘗テオ
ートルロー戰爭ノ時歩騎互ニ戰鬪スルヲ査検
セリ之ヲ以テ上説ノ的確ナルヲ証スベシ

學頭ホルブス氏其門下ニアル英吉利、蘇格蘭、阿
爾蘭等ノ生徒ノ重量ヲ査検シ又白耳義ノ生徒
上等級下等級相混シタル人民ノ重量ヲ査検シ
テ其得ル所下ノ如シ

衣服ト共ニ量リタル全身ノ重量表

年齢	英吉利人	蘇格蘭人	阿爾蘭人	白耳義人不混同人
十五歳	百十四ポンド五	百十二ポンド	〃	百零二ポンド
十六歳	百廿七ポンド	百廿五ポンド五	百廿九ポンド	百十七ポンド五
十七歳	百廿三ポンド五	百廿三ポンド五	百廿六ポンド	百廿七ポンド
十八歳	百廿八ポンド	百廿九ポンド	百廿二ポンド五	百三十四ポンド

十九歳	百四十ポンド	百四十三ポンド	百四十二ポンド	百四十一ポンド	百四十ポンド	百三十九ポンド
二十歳	百四十四ポンド	百四十六ポンド五	百四十五ポンド五	百四十六ポンド五	百四十五ポンド五	百四十二ポンド
廿一歳	百四十六ポンド	百四十六ポンド五	百四十五ポンド	百四十六ポンド五	百四十五ポンド五	百四十五ポンド
廿二歳	百四十七ポンド五	百四十七ポンド	百五十三ポンド	百五十ポンド	百四十七ポンド	百四十八ポンド五
廿三歳	百四十九ポンド	百五十一ポンド	百五十四ポンド	百五十一ポンド	百五十五ポンド	百四十九ポンド五
廿四歳	百五十ポンド	百五十二ポンド	百五十五ポンド	百五十二ポンド	百五十五ポンド	百五十ポンド
廿五歳	百五十ポンド	百五十二ポンド五	百五十五ポンド	百五十二ポンド五	百五十五ポンド	百五十ポンド

此表ニ掲ル所モ亦前ノ身長表ノ如ク阿爾蘭人ヲ以テ第一トナス又白耳義人ノ上等級下等級混合ノモノヲ筭スルニ衣服ヲ除テ中筭スレハ其重量甚少ナク僅カニ一百三十四ポンドト為ス又英吉利人ト白耳義人トノ間ニ付テホルブス氏ノ説トクエートレット氏ノ説トヲ參考スルヿヲ得タリクエートレット氏曾テ「カムブリッチ」黌ニアル八十人ノ學生ヲ十人宛一團ト為シテ之ヲ中筭セシニ衣服ト共ニ其重量百五十一ポンドト為ス即チ上ニホルブス氏ノ筭シタル廿五歳ノ英人ノ重量ト相符合セリ但シ「カムブリッチ」黌ノ生徒ハ十八歳ヨリ廿三歳迄ヲ以テ限トセル故ニクエートレット氏ノ計筭ハホルブス氏ノ計筭

ヨリハ其重量稍過ギタリ然レ𪜈之ヲハ前ニ論スル如ク其貴族タルヲ以テナリクヱートレット氏又白耳義人ノ重量ヲ査檢セシニ「カムブリッチ」學ニアル英國生徒ノ十八歳ヨリ廿三歳迄ノ中筭重量ハ同歳ノ白耳義人ノ中筭重量ニ踰エテ殆ト和蘭ハ「デラハンド」「フランデル」ノ諸部ニアル三十歳ノ人ト其重量ヲ均ウセリ

身軀ノ長大及其重量ニ於テハ阿爾蘭人ノ他ノ人種ニ優ルヿ必然タリ而シテ次篇ノホルブス氏ノ身躰強力比較表ニ於テモ亦阿爾蘭人第一ニ位スルヲ見レハ全ク此國人ノ他國人ニ勝レタルヿ實ニ疑フ可カラサルナリ

クヱートレット氏人類年ヲ累ルニ隨テ增ス所ノ重量ニ定則アルヿニ付テ說ヲ為スヿ下ノ如シ

初生ノ時ニ當テ男子ノ重量中筭シテ三「キロガラム」二零一「キロガラム」ハ英ノ二「ポンド」五分ノ一シテ二「キロガラム」九一トナス總テ孩兒出生ノ後三日ノ間ハ其重量ヲ減シテ第七日ニ至ル迄ハ決シテ其重量ヲ增スナシ而シテ其年齡同ジキ時ハ男子ノ重量常ニ女兒ニ勝ルト雖モ十二歳

ニ至ルキハ男女共ニ其重量ヲ同セリ身躰最重ノ歳男子ハ四十歳ニシテ女子ハ五十歳ナリ白耳義人ノ大試驗ニヨレハ廿五歳ノ男子其重量六十二「キロガラム」九三ニシテ四十歳最重ノ歳ニ及テハ六十三「キロガラム」七トナス又廿五歳ノ女子其重量五十三「キロガラム」二ニシテ五十歳最重ノ年ノ重量五十六「キロガラム」一六即英ノ一百四十「ポンド」一四ニ當ル故ニ英人中等ノ算用ヨリ甚少シトナス為ス故ニ人類最重ノ度ニ達スルキハ殆ト初生ノキハ重量二十倍ニ至ル若シ男女老幼ヲ混シテ之ヲ中算スルキハ其重量四十五「キロガラム」七トナス而シテ男子ハ四十歳婦人ハ五十歳ヨリ漸次ニ重量ヲ減シ死期ニ至リテハ通例六「キロガラム」乃至七「キロガラム」ヲ減スルモノナリ

身躰ノ強力

人類身躰ノ強力ハ前ノ身長重量等ニ比スレバ頗ル査究ヲ經タルモノナリ故ニ各種族ノ身躰力ヲ相比較シ其強弱ヲ察スル為ニモセヨ又ハ開化ノ人民日用ノ器械ヲ使用スルニ身躰力ノ關渉アルヿヲ見ン為ニモセヨ實ニ甚緊要ナル

モノナルヿ明カナリ腕ト腰トノ強力ヲ確定スル方法ニ付テ種々ノ説起リシカ方今ハ一般ニレグニール氏ノ發明セル「デ子モメートル」人身カヲ測ル器ト云フ器械ヲ用ヰルニ至レリ此ノ「デ子モメートル」ハクエートレット氏ホルブス氏及ビ其他ノ諸名士等ノ強力試驗ニ用ヰシ所ト雖モ未タ十全ノ器械ト為ス可ラス何トナレバ試驗ノ片此器械ニ依テ腕腰等ノ強力幾何ヲ知ルハ非常ノ注意精察ニアラザレハ能ハサルヲ以テナリ今爰ニ言語ヲ以テ此器械ヲ精ク説明スルヿ能ハズ故ニ唯其概畧ヲ揭ケン此器械ハ其査檢ヲ受ル人ノ腕ト腰トノ強力ノ多少ヲ「ジアル、プラト」度ヲ盛リタル圓盤面ト名ツクル盤面上ニ顯ハスモノナリ

世ノ學者常ニ野蠻土人ノ氣力甚タ強キヲ視テ開化ノ進ムニ隨テ人類ノ強力次第ニ減損スルト云フ説ヲ信セリ然レモ其後更ニ熟考深察スルニ依テ遂ニ前説ノ非ヲ知ルニ至レリ航海者ペロン氏其旅行ノ片ニ「デ子モメートル」見上ヲ携ヘテパンヂメンランド土人十二人ニューホルランド

ド人十七人チモル島ノ人五十六人佛蘭西人十七人英吉利人十四人ヲ査檢セリ即下ニ示ス所ノ表ハ各人ノ腕ト腰トノ強力ノ中筭ナリ但シデ子モメートル」ヲ査檢シタル腰ノ強力ト云フハ重量ノ物ヲ揚ルヿニヨリテ「ジアル、プラト」盤上ニ著レタル度數ヲ云フナリ

ペロン氏ノ身躰強力比較表

種族	腕力	腰力
バンヂメンランド人	五十「キロカルム」六	〃
ニュー、ホルランド人	五十「キロカルム」八	十一「ミルリオガラム」二
チモル人	五十八「キロカラム」七	十一「ミルリオガラム」六
佛蘭西人	六十九「キロカラム」二	十五「ミルリオガラム」二
英吉利人	七十一「キロカラム」四	十六「ミルリオガラム」三

バンヂメンランド人ノ最大ノ腕力ハ六十「キロガラム」ニシテニュー、ホルランド人ノ最大ノ腕力六十二「キロカラム」ナリ而シテ英人ハ最下ノ腕力ト雖モ六十三「キロガラム」ニシテ最大ノ腕力ニ至リテハ八十三「キロガラム」ナリ又腰力ハニュー、ホルランド人ノ最大ナルモノ僅ニ十三「ミルリオガラム」「ミルリオガラム」ハ殆ド英國ノ二十三「ポンド」ニ當ルナリ英人ノ

最下ナルモノ十二「ミルリオガラム」ニシテ最大ナルモノ二十一「ミルリオカラム」三十ナリ然レモ上ノ表ハ中筭ノ強力ヲ比較セルモノナリ

ラウレンシト云者以為ラクペロン氏ノ説ハ世間ノ開化ニ隨テ人ノ強力還テ下等ニ趣クト云フ説ヲ破ルニ最モ善キモノナリト抑野蠻種族ノ強力開化ノ人ニ勝ルト云フニ於テハ開化諸州ニ住セル人常ニ其開化ニ由テ生スル許多ノ利益アルヲ以テ其心ヲ慰サムト雖モ猶慊ラスト為セリ故ニ斯ノ如キ説ハ全ク野蠻種ニ左袒スル者ノ漫リニ信ズル所ニシテ大ニ非ナリ夫レ身躰ノ強力ハ其健康ヨリ生ス而メ其健康ハ滋養物ヲ適宜ニ用ヰ活潑ナル職業ヲ営ムヲ以テ得ルモノニシテ此二ツ者又能ク常ニ其健康ヲ保テ用ヲ為ス故ニ文明諸國ノ中等ニアル黽勉勤勞スル人民ノ如キハ常ニ懶怠ニシテ屢諸物ノ欠乏ニ困ハ所ノ野蠻人種ニ比スレバ其健康ノ優レル「論ヲ待タス然ラハ則チ其強力モ亦野蠻種ノ上ニ出ルハ必然ナリ此等ノ例ハ上ノペロン氏ノ査検セシ所ノ表ニ明カニシテ歴史中ニ載

セタル數百條ノ實事ヲ見テモ亦然リ西班牙人ノ初テ米利堅大洲ニ至リシヽ其土人甚ダ軟弱ニシテ接戰角力ヨリ礦山開鑿ノ役ニ至ル迄亦西班牙人ニハ及バス又米利堅土人ノ住地ニ接近シタル合衆國郊野ノ住民モ其格鬪ニ於テハ甚ダ土人種ニ優レリ又ハオーレス氏ノ說ニヨレバ歐羅巴ニ住メル魯西亞人ノ強力モ其領國ニ於ケル蒙古種ニ過ルヿ數等ナリト云フ更ニ確實ナル大試驗ヲ以テ各種ノ高加索人民其身躰ノ強力ヲ比較セントスル次ノ表ハホルブス氏ノ筭スル所ニシテ又英吉利、蘇格蘭、阿爾蘭、白耳義等ノ人民ノ強力ヲ示スモノナリ

腰力比較表

年齡	英吉利人	蘇格蘭人	阿爾蘭人	白耳義人
十五歲	〃	二百八十ポンド	〃	二百零四ポンド
十六歲	三百三十六ポンド	三百十四ポンド	〃	二百廿六ポンド
十七歲	三百五十二ポンド	三百四十ポンド	三百六十九ポンド	二百六十ポンド
十八歲	三百六十四ポンド	三百六十ポンド	三百八十九ポンド	二百八十ポンド
十九歲	三百七十八ポンド	三百七十八ポンド	四百零四ポンド	二百九十六ポンド
二十歲	三百八十五ポンド	三百九十二ポンド	四百十六ポンド	三百十ポンド

廿一歳	三百九十二「ポンド」	四百零二「ポンド」	四百廿三「ポンド」	三百廿二「ポンド」	
廿二歳	三百九十七「ポンド」	四百十「ポンド」	四百廿七「ポンド」	三百三十「ポンド」	
廿三歳	四百零一「ポンド」	四百十七「ポンド」	四百三十「ポンド」	三百五十「ポンド」	
廿四歳	四百零二「ポンド」	四百廿一「ポンド」	四百三十一「ポンド」	三百廿七「ポンド」	
廿五歳	四百零三「ポンド」	四百廿三「ポンド」	四百三十一「ポンド」	三百廿九「ポンド」	

此表ニ於テモ亦前ノ諸表ノ如ク阿爾蘭人ヲ第一トナシ蘇格蘭人英吉利人之ニ次キ白耳義人ヲ最モ下ト為ス而メ重量ト身長トノ如キハ其計算ノ法確實簡易ニシテ若シ其用方ニ謬リアルモ算計ノ標目ヲ誤ルヿ必スアル可ラズ然ルニ今此表ニ示ス所ハ其器械未ダ精密ナラサルガ故ニ計算或ハ小差ナキヿヲ得ス然レトモ甲乙ノ順序前ノ諸表ト相符合スルヿヲ見ルヿハ亦大抵差謬ナカル可シ○阿爾蘭人ノ腰力白耳義人ノ腰力ニ勝ルヿ甚ダ大ニシテ殆ト四分ノ一ニ至レリ而ノ英人ノ腰力白耳義人ニ勝ルヿ六十四「ポンド」是又小トナス可ラス前ノペロン氏ノ表ニ於テハ英人ノ腰力三百七十六「ポンド」ニシテ學頭ホルブス氏ノ算スル腰力ニ比スレバ甚ダ下ニ位ス然レトモ前ニ云フ如ク之ハ生徒ト水夫トニ因テ

其差異アルモノユレテペロン氏ノ試驗セル人ハ水夫タルヲ以テナリ又蘓格蘭人ト阿爾蘭人ノ差異ハ甚ダ僅小ナリト為ス今ホルブス氏ノ試驗ヲ中外ニ宣布シテ他ノ歐羅巴洲各國人民ノ身躰ノ強弱ヲ比較シテ十全ノ表ヲ著ハサンヿ甚ダ企望スル所ナリ蓋シ人民身躰ノ強弱全ク其開化ニ關係スルヿハ從来世人ノ想像スルヨリモ尚ホ甚シキモノナリ

英國ウヰルリントン侯其敵ノ強力ヲ視テ強力ハ全ク開化ヨリ生スルモノナルヿヲ知リテ常ニ深ク之ニ注意セリ

「デ子モメートル」ノ發明者レグニール氏數回ノ試驗ニヨリテ人ノ強力ノ最高度ニ達スル期ハ廿五歳ト三十歳トノ間ニアリテ其年期ニ於テハ両手ヲ以テ強ク壓スルニ五十「キロガラム」ト同シキ重量アリテ又十三「ミルリガラム」ノ重量ヲ擧ルノ力アリトセリ而ノレグニール氏ノ説ニハ男子其身躰ノ強力減少セザルハ五十歳ニ限リ爾後ハ漸次ニ減少ス又佛人マルシャルバンソンヲト氏本國産ナル水夫三百四十五人ヲハ

ブル港ニ於テ試驗セシニ其中筭ノ腕力四十六「キロガラム」三ニシテ腰力十四「ミルリオガラム」ニナル「ヲ發明セリ此發明ノ強力ハレダニール氏ノ試驗ト甚差異アリ然レモ是ハ「デ子モメートル」ノ用法各少差アルニ由テ遂ニ其發明セル強力ニ此ノ如キ差異ヲ生スルニ至レリ又クエートレット氏白耳義人ノ腰力ヲ査檢シテ確定スル所下表ノ如シ

男女ノ腰力表

年齡	男子	女子
九歳	四「ミルリオガラム」	三「ミルリオガラム」
十五歳	八「ミルリオガラム」八	五「ミルリオガラム」三
廿歳	十三「ミルリオガラム」八	六「ミルリオガラム」八
廿五歳	十五「ミルリオガラム」五	七「ミルリオガラム」七
三十歳	十六「ミルリオガラム」四	〃
五十歳	十「ミルリオガラム」一	五「ミルリオガラム」九

此表中其齡廿五歳ニシテ強力最高度ニ達スル白耳義男子ノ腰力「デ子モメートル」ニテ量ルキハ十五「ミルリオガラム」五トナス前ニペロン氏其附屬ノ水夫ヲ測リシキ英產ノ水夫ハ其腰力

十六「ミルリオガラム」ニシテ佛産ノ水夫ハ稍一等ヲ下リ其腰力十五「ミルリオガラム」ナリ此佛産ノ水夫ノ腰力ト上ノ表ノ白耳義男子ノ腰力トハ其差異甚僅小ニシテ同一ト云フモ可ナリ然レ𪜈他ノ査檢ニヨリテ英人ト白耳義人トヲ比較セシモノナラバ今上ニ云フ所ノモノヨリハ英人ノ腰力尚勝サルベシ若クヱートレット氏自カラ英人ヲ査檢スルカ又ハ自カラ主宰トナリテ之ヲ査檢セシナラハ方今既ニ英人ノ白耳義人ニ必ス超越セルヿヲ顯ハサン

今爰ニ各種族ヲ比シ及ヒ各國民ヲ較シテ論スル等ノヿヲ閣シテ各國民中異常ノ強力ヲ顯セルモノヲ掲示セン夫レ史録ニ載スル所ニヨレハ希臘人ミロト云ヘル人ハ一拳ニテ野牛ヲ斃シ之ヲ肩ニ掛ケ其家ニ歸ルト又アウレリアン帝ノ代ニ生レタルヒルミュスト云ヘル人ハ其身軀ヲ顛倒シテ穹窿狀ヲ為シ僅ニ頭ト足トヲ以テ地ニ着シ其胸上ニ鉄材ヲ置キ鉄椎ヲ以テ敲擊セシメ而シテ之ニ堪ヘ且其他筋骨ノ強力ヲ顯ハス許多ノ伎倆ノ施セリト其後バンヽエックボルフト

云ヘル日耳曼人ヒルミュスニ倣ヒテ其伎倆ヲ顯ハセリ又嘗テ斜メニ板ヲ建テ自カラ其上ニ坐シ両足ヲ或ル位地ニ託シテ強健ナル二馬ヲ以テ之ヲ牽カシムルニ其所ヲ動カスヿ能ハザリシ又ヒルミュス氏ニ倣ヒ其身軀ヲ顛倒シテ穹窿状ヲ為シ長サ一「フート」半幅一「フート」ノ石ヲ其下腹ノ上ニ置キ巨槌ヲ以テ之ヲ擊碎セシメタリ又高屋上ニ立チ巨縄ヲ以テ其躰ヲ纏繞シ縄端ニ巨大ノ迦農砲ヲ懸ケテ之ニ堪ヘタリ此迦農砲ハ數馬ヲ以テ運輸スヘキモノナリ又生鉄ノ片板ヲ螺尖狀ニ捻チ廻シタリ學者デサグリールスハ嘗テ上ノエックボルフ氏ノ伎倆ヲ目擊シテ此等ノ伎倆ハ真ノ強力ヨリハ寧練磨ノ功ニヨリテ得ルモノトナセリ此人一日エックボルクノ伎倆ヲ見テ其夜友人ノ助カヲ乞テ晝間目擊スル所ノ許多ノ伎倆ヲ自カラ試驗セリ而ノ此試驗中ニ於テ胸上ニ石ヲ置クヿヲ以テ最難シトナセリ然レモ果シテ石ヲ胸上ニ置クヿハ之ヲ破碎スルニ其困苦ヲ増スヿ甚僅少ナリ且身躰ヲ穹窿狀ニナセハ槌擊ノ劇

キヲ増サスシテ反テ之ヲ減スルモノナリ其他ノ伎倆ニ於テモ亦此ノ如クニシテ真ノ異常ノ強力ヨリハ其身躰ニ所有セル強力ヲ巧ミニ用ヰテ之ヲ行フノミ此時又英國ニトスハムト云ヘル人アリシガ毫モ熟練ノ巧ヲ假ラズシテエッグボルフ氏ノ如キ驚異スベキ伎倆ヲ著ハセリ嘗テ一日二匹ノ奔馬ヲ引戻シシニ日耳曼人ノ如ク巧ニ其力ヲ用ヰルヿヲ知ラスシテ遂ニ其身ニ損害ヲ受シトハ雖モ實ニ真ノ腕力ヲ用ヰテ之ヲ行ヘリ又其手ヲ以テ大ナル亜鉛板ヲ巻舒スルヿ甚タ容易ナリ又周圍三「インチ」長サ三「ヒート」ノ鉄箸ヲ以テ其袂ヲ攘ケ其右手ヲ露ハシ而メ其箸ヲ肉上ニ敲打シテ遂ニ直角形ニ曲ケ又鉄箸ヲ後頸上ニ置キ雙手ヲ以テ其両端ヲ把リ直ニ之ヲ捻廻シ前面ニテ其端ヲ接セシメ又之ヲ引伸シテ舊形ニ復シタリ但此等ノ事ヲ行フ時ニハ其腕手ヲ極メテ不便ナル所ニ置キシトソ此人ノ伎倆中ニ於テ最驚異スベキモノハ長サ六「ヒート」ノ卓机ノ一端ニ半「ポンド」ルドウヰト」重量ノ名ノ重量ヲ掛ケ歯牙ヲ以テ他ノ一端ヲ銜ミ

之ヲ擧ケ大凡一時ノ間支持シテ地上ニ墜サヽリキ

此トパアムヨリモ尚驚歎スベキ強力ヲ著ハセル人ノ説話多シト雖モ其事虚誕ニ近クシテ信スルニ足ラス且其強力モエックボルフノ如キ自然ノ強力ヨリハ巧ニ其力ヲ用ヰル熟練ヨリ来レルモノトナス故ニ正史中ニ載スル所ノモノニシテ造化自然ノ強力ヲ全ク其身ニ禀ケタルモノハトパアム氏ナルヿヲ知ルニ足レリ

天禀ノ性質

此章ハ世界中数種ノ人民其天禀ノ性質ニ於テ大ニ殊別アルヲ論スルモノニシテ其旨趣ハ上ノ数章ヲ總テ之ヲ約言スルニ過キズ蓋シ天禀ノ性質最モ下等ナル者ヲ熱帶以内ノ黒人種ト為ス此人種ハ一般ニ甚ノ懶惰ニシテ人情ヲ解セズ思慮浅近ニシテ勉強耐忍ノ力ナク或ハ舊来ノ儀式ニ泥ミ或ハ無根ノ邪説ヲ信ジ其固陋頑愚ナルヿ實ニ甚シ抑此人種中彼レ此レヨリ優ル者ナキニハアラザレモ聚スルニ人々互ニ交誼ヲ厚ウシ緩急相救ヒ合シテ一國ヲ為スノ大利益タル

ヲ知ル者ナシ而シテ其最モ下等ナル民族ハ澳太利及ビ太平洋ノ諸島ニ住スル者是ナリ然レドモ黑人種ニ屬スル人民ハ總テ此民族ノ如ク蠢愚ナルニハアラズ或ハ巧ニ衣服ノ一部ヲ製シ或ハ小舟ノ運用ニ習熟シ或ハ獵具兵器ノ用法ニ老練スル等往々人ヲシテ感服セシムベキ才能ヲ顯スモノ之アリ

北米利堅ノ赤色人種ハ黑人種ニ較スレバ之ニ勝ルヿ數等譬ヘハ戰爭等ノ為メニ互ニ盟約合同スルヿ又屢才智ヲ顯スヿ及ビ其耐忍ノ力アルヿ知覺ノ鋭敏ナルヿ等ハ黑人種ノ能ク及ブ所ニアラス加之此人種中或ハ士タル者ノ氣象トモ稱スベキ懇親ト禮貌トヲ顯ス者少カラス

天稟ノ性質ニ於テ右二種族ノ上ニ位スル者ヲ蒙古人種ト為ス此人種ハ文學藝術ニモ既ニ多少ノ進歩ヲ為シ且相集合シテ堂々タル大國ヲ成セル者甚多シ然レドモ其開化ニ赴クヤ一種ノ定限アリテ既ニ此地位ニ達スルトキハ決シテ之ヲ超ユルヿ能ハス譬ヘハ政治ノ體裁行狀ノ法則其他百般ノ事ニ於テ數千百年前ニ定リタル

モノヲ今日ニ至リテモ猶ホ依然トシテ執守シ毫モ之ヲ變革改正スルヿナシ是此人種ノ一大欠典ナリ、

歐羅巴人種ハ總テ他ノ人種ニ卓越スルヿ極メテ大ナリ知覺甚ダ銳敏ニシテ思慮極メテ深遠ナリ就中駸々トシテ日ニ開化ニ進歩スルノ景況ハ他ノ人種ニ於テ其比ヲ見ス試ニ地球ノ表面ヲ一見セヨ良ク政度法律ノ設ケ凡ソ人間交際ノ紀律ニ於テ皆善美ヲ盡シ其國ノ繁盛幸福ニ於テ古今無雙ト稱セラルヽ國ハ悉ク此人種ノ集合シテ成レルモノニアラザルハナシ抑學問ノ力ヲ以テ天稟ノ勉強耐忍ヲ輔ケ亜細亜人ノ企テ及ブベカラザル貨殖ヲ致ス者ハ此人種ナリ又仁愛ノ心ヨリシテ鰥寡孤獨廢疾ノ人ヲ救助撫育スルノ方法ヲ設ケ天下不幸ノ人民ヲシテ各其所ヲ得セシムル者モ此人種ナリ加之地球上ノ各部ニ赴キ其工人ノ為ニ紛骨碎身スル者モ亦此人種ナリ凡ソ此人種ハ何レノ國土ニ赴クモ必ス多少ノ權威ヲ振ハザルヿナシ是其才智勉強及氣力ノ他ニ卓逸スル所以ナリ

人類悉ク起源又一ニスルノ說

世界中種々ノ人種ハ皆同一種族ヨリ變化セル者ニシテ其實ハ何レモ祖先ヲ共ニスル者ナリ現今ノ區別ハ時代ノ經過ト飲食氣候等ノ如キ外部ノ模樣均シカラサルトノ二條ヨリ起ル所ナリト云フ說アリ是世人ノ普ク信ズル所ニシテ人種學者一般ノ定論ナリ然レ𪜈此說ニ付テ甚疑フベキ條件ナキニアラス且人種學者ノ最モ有名ナルモノニシテ此說ヲ採用セサル者アリ昔時紀功碑及記錄ノ類初メテ世ニ顯レシヨリ

以來今世ニ至ル迄依然トシテ古昔ノ容貌骨骼ヲ存シ些少ノ變化ヲモ為サル人民往々之アリ故ニ上ノ說ヲ疑フ者ハ皆此實跡ニ據リ以テ其確實ナラサルヿヲ證スベシ譬ヘバドクトル、イドワルド氏ノ「ゼウス」人ヲ擧テ其一例ト為スガ如キ是ナリ此人民ハ殆ト二千年ノ間各國ヲ遍歷シタレモ所トシテ其固有ノ相貌ヲ存セザルヿナシレオナルド、ダウンシー氏ノ「ラーストン、ソップル」耶蘇將ニ死セントスル晚ニ方テ預メ其死ヲ知リ麵包及酒ヲ門人ニ與ヘテ別ヲ為スモノヲ畫ケリノ畫ハ三百年前ノ作ナレ𪜈氏畫中見ル所ノ

「ゼウス」人ハ當時ノ「ゼウス」人ノ相貌ト甚タ相似タリ又此人民ノ相貌大古ヨリ未タ曾テ變化セサリシ「ハ阨日多國王ノ墓所ヨリ堀出シタル古画ヲ見テ知ルヘシ此画ハベルゾニー氏ノ發見セシ所ニシテ蓋シ三千年ノ星霜ヲ經タルモノナラン画中四類ノ人民行列シタル體ヲ寫シタリ第一類ヲ黑鳶色ノ阨日多人トナシ第二類ヲ毛髪粗ニシテ唇厚ク皮膚黯黑ナル黑人トナシ第三類ヲ白皃西亜人ト為シ第四類ヲ「イスライル」人即チ「ゼウス」人ト為ス但シ皮膚ノ色ト相貌トヲ以テ之ヲ

區別スルヲ得ルナリ英國倫敦博覧會ノ「ギイド」ワルド氏此画ヲ熟見シテ曰ク予先日此市中ニテ数箇ノ「ゼウス」人ヲ見タリシガ今日此画ヲ見ルニ其相似タルヿ恰モ先日ノ「ゼウス」人ノ寫真ノ如シト

「イド」ワルド氏亦種々ノ證據ヲ掲テ歐羅巴諸國屢其君主ヲ變ジタレ𪜈其住民ノ性質外貌等ハ尚古昔ノ時代ト全ク異同ナシト云フ説ヲ確定セントス當時羅馬府及其法王ノ諸領地ニ住スル人民ノ相貌ハ肖像及彫刻ニテ顯セル昔時羅

馬人ノ相負ト大ニ相似タリ又意太利ノ北方及佛蘭西ノ東方ニ於テ昔時ノゴール人トモ為スベキ一種ノ人民ヲ索出セリ又種々ノ證據ヲ引キ當時ノ英國人民中ニハ尚昔時ノ「ブリトン」人多ク之アルヿヲ説明セリ

人民舊土ニ住シテ移轉セザルヿ並ニ其固有ノ生質ヲ存シテ永久之ヲ失ハサルヿハタシチュス氏（羅馬時代ノ歴史家）ノ記載ヲ見テ之ヲ知ルベシタシチュス氏「ゴール」人ヲ評シテ曰ク此人民ハ活潑ニシテ遷リ易ク性質急ニシテ思慮密ナラズ故ニ事ヲ為スニ狐疑スルヿナシ然レトモ久シク不幸艱難ヲ忍ヒ其困難事ニ克ツノ力寡シト當時佛國ノ人民中「セルチック」人種ノ子孫ハ尚上ノ如キ性質ヲ存シタリ又「ブリトン」人ヲ評シテ曰ク其性質淡泊沉静思慮綿密ニシテ才能アリト且曰余ハ「ゴール」人ノ活潑ナル風俗ヨリ寧「ブリトン」人ノ才畧ヲ愛セリト千八百年代ノ英人ノ性質ヲ見ルニ此評ト甚タ相似タリ且此二評ヲ以テ當時両國人民ノ性質ヲ區別スルヲ得ベシ又日耳曼人ヲ評シテ曰ク勇敢ニシテ智慮深ク耐忍ニ

シテ善德ヲ具ヘ天稟極メテ剛毅ナリト現今ノ日耳曼人猶斯ノ如シ又日耳曼人ノ外貌ヲ論シテ曰ク毛髮美麗ニシテ目色青シト方今ノ日耳曼人モ亦此論ノ如シ此等ノ「ハ世人ノ能ク知ル所ナリ

又一家族ニ關係シタル事實ヲ察スルニ一種ノ人民其外貌ハ永ク變ゼスト云フ證據ト為スヘキモノアリ一家族代々ノ寫真ヲ見ルニ一種ノ相貌永ク子孫ニ傳ハル「アリ時トシテハ一二代ノ間中絶シ三代目ニ至リテ再ビ顯ハル、「アリ例ヘハ英國王族ノ容貌イレクトレス、ソセアハノ家ノ祖ルル以來格別ノ變化ナク墺地利王族ノ人、數百年前ヨリ世々下唇ノ厚キガ如キ是レナリ又ウヰルレム、ホーウヰンツト氏ノ著ハセル「ウヰシツト、ツーレマーケーブル、プレーセス」ト云フ書中ニセーキスピール英國有名ノ作者ノ後裔ト稱スル一童子ノ寫真ヲ出セリ其相貌ノセーキスピールニ似タル「實ニ著ルシ

余自ラ目擊シタル一例ヲ擧テ之ヲ示サン曾テ貧窮ノ人ニシテ華族ウヰレタウレ氏ノ家督ヲ

繼グベシト云フ者ヲ見タリシコアリ此人ノ相貌ハ女王マリー時代ノ華族ウヰンタウン氏ノ童子ノ画像ニ似タルヿ恰モ兄弟ノ如シ但シ此画像ハアントニー、ムール氏ノ画ク所ニシテピンケルトン氏ノ集画閣ニアルモノナリ又一例アリ一家族固有ノ相貌ハ久シキ年代ヲ經テモ消滅セス是其一證ナリ余嘗テ郊外ニ逍遥セシ中年ノ人ノ馬車ニ駕シテ通行スル者ニ遇ヒケルニ此人ノ容貌世間ニ流布シタルウイルレム、ワルレース（義格蘭勇將）ノ寫真ニ類セリ余平生此寫真ノ

真偽ヲ疑ヒタリシガ彼中年ノ人ハゼ子ラルヽドンロップナリト聞キ實ニ愕然タラサルヲ得ザリシ如何トナレバドンロップ氏ノ母ハワルレース家ノ一支族ノ後裔ナルクレーシーノトーマス、ワルレースノ女ナレハナリ且余ノドンロップ氏ニ遇ヒタル土地ハ同氏ノ居所ヨリ六十里許モ隔離シタレバ預メ其ドンロップ氏ナルコヲ疑フベキ由縁モナク實ニ不意ノコト云フベシ抑ウイルレム、ワルレース氏ハ佛國ニ赴キシコモアリシナレハ彼國ニテ其寫真ヲ為シシコモアルベ

キ筈ナリ若又假令其寫真實物ニアラストワルレースクレーシー家ノ一古人ノ寫真ナルヿハ明白ナリ然ラハ則チ上文ノ話ハ先代ノ相貌遠ク後代ニ傳ハルノ確證ト為スニ足ハベレ

大ニ皮膚ノ色ヲ變シ且毛髪ノ質ヲ變スルモノハ特ニ氣候ノミナリト云フ世間一般ノ通論アリト雖トモドクトルモルトン氏ノ説ニ據レハ此通論ハ世間ノ實事ト齟齬スルヿ甚タ多シ今其一二ノ例ヲ左ニ掲グ「インド、チャイニーズ」印度ニ生スルタル支那人ハ熱帶ノ地方ニ住スルモ其皮膚ノ色蔑色或

ハ黄色ニシテ決シテ黯黑ニ至ラズ之ニ反シテ「ダスマニア」人ト濠太利人トハ温帶或ハ寒帶ノ地方ニ住スルモ其色尚黯黑ナリ又「ダスマニア」人ハ何レノ地ニアルモ毛髪必縮シ馬来人ハ赤道直下ノ地ニアルモ毛髪必真直ナリ又米利堅土人ニハ決シテ毛髪ノ縮シタルモノナシ若之ヲ其氣候ノ然ラシムルモノトセバ既ニ三百餘年シント、ドミンゴ島ニ住シタル黑人ハ何故ニ其縮ノ毛髪アルヿ阿弗利加内地ノ人民ニ異ナルナキヤ又白皙種族ノ人若數世ノ間熱

帶ノ地方ニ住スルトキハ其皮膚漸々黑色ニ變ズト雖トモ是又自カラ一ノ界限アリテ其變化ヲ止ムルガ故ニ歐羅巴人ヨリ全ク黑人ニ遷ル程大變化ハ決シテアラザルナリ

ドクトル、モルトン氏阪日多ノ「カタコーム」地底ノ墓所ヨリ堀出シタル顱骨ヲ点檢シ阪日多人黑人及希臘人ノ三種ヲ一々明白ニ區別スルヲ得タリ又是等ノ實事ニ據リ斷シテ曰ク世界種々ノ人民ニ具リタル固有ノ相貌骨骼ハ太古記錄ノ類世ニ顯ハレシ後ニ定マリシモノニアラスト

此人ノ説ニ從ヘバ往古ノ阪日多人ハ一ノ別人種ニシテ最モ古キ人類ノ諸中心（下文ニ詳ナリ）ノ一ナリ」學頭アガッシズ氏モ亦諸人種ニハ固有ノ區別アリト云フ前説ニ左袒セリ世ノ究理學者（ナチュラリスト）一般ノ説ニ人類及其他ノ動物ニハ各其奔走スル所ノ領地ニ境界アリテ一領地毎ニ必ス創造ノ中心ヲ備ヘタリト云ヘリアガッシズ氏謂ラク人類モ亦他ノ動物ノ如ク一人種毎ニ各定マリタル領地アリテ其地内ニハ必ス中心ノ場所アルベシト此説ニ基キ地球ヲ八ノ領地ニ區別セリ即北氷海

人ノ領地、蒙古人ノ領地、歐羅巴人ノ領地、米利堅土人ノ領地、阿弗利加人ノ領地、「ホッテントット」人ノ領地、澳太利人ノ領地及ビ馬来人ノ領地是レナリ且此諸領地ノ住民ヲ評シテ曰ク其相異ナル「種々ノ野猿ノ同一ナラサルガ如シト又此説ト人間起源同一ノ説ト並ヒ行ハレテ相戻ラザル旨ヲ務メテ辨論セリ曰ク人間ノ起源同一ナル「ハ尚ホ一群ノ牛馬ノ起源ヲ一ニスルガ如シ試ニ古今ノ歴史ヲ熟讀セヨ何ノ人種何ノ地方ヲ論セズ凡ソ人類タル者ノ為ス所其形跡情實極ノテ相類似シ都テ世界億兆ノ人民祖先ヲ共ニスルノ證據トナラザルモノナシ故ニ前説ノ人間起源同一ノ説ヲ妨ゲザルハ猶ホ外貌ノ類スルヲ以テ親子兄弟ト為シ又其似サルヲ以テ他人他族ト為スヿ能ハザルカ如シト

風土ニ因テ變化ヲ生ズルヿヲ論ス

前章ニ記載セル人民ノ外貌必ス變セズト云フ論ハ固ヨリ一理ナキニアラズ然レモ世間ノ事實ヲ熟察スルニ此論ト大ニ齟齬スルノミナラス却テ人類起源同一ノ説ヲ保護スルニ足ルベキ

モノ極メテ多シ例ヘハ一種族ニ屬スル人ニシテ固有ナル一般ノ相貌ト異ナルヿ恰モ此種族ト彼種族ト相似ザルガ如キモノ何レノ種族中ニモ其數寡カラス即チ人類ノ外貌變化スベキ一證ナリ又人民ノ相貌骨骼古今變セサルノ例ハ屢〻之アリト雖ヒ其過半ハ古來同シ土地ニ住シ同シ外部ノ模樣ヲ其身ニ受ケテ變化セサルモノナリ例ヘハ日耳曼人民今世ニ至テモ尚タシ

チュス羅馬將軍ノ氏ノ時代ノ相貌ヲ失ハサレハ人種ノ永久變ゼサルノ証據ニハ非ズシテ却テ人民ノ外貌ハ氣候其他外部ノ模樣ヨリ起ルト云フ証據トナルベシ今若英佛兩國ノ人民ヲ舉テ之ヲ論ズレハ其理愈明白ナリ此二國ノ人民ハ種々ノ人種ト混同シタレヒ古來未ッ曾テ重立タル固有ノ容貌ヲ失ヒシヿナシ又ドクトル、プリチャルド氏ノ説ニ顱骨ノ形狀ハ生活ノ方法ト開化ノ模樣トニ因テ變スル者ナリト云ヘリ此説ハ既ニ前章ニ記載セルガ故ニ今又茲ニ贅セス實ニ氣候ノカヲ除キ唯食物職業習慣等ノ違ヨリ僅カ両三代ノ間ニ相貌骨骼ノ變化スルヿ啻ニ僅々

ナラス之ヲ證セント欲セハ常ニ惡シキ食物ヲ
啜リ惡シキ風俗ニ沁染シタル下賤ノ人民ヲ熟
視スルヲ要スルノミ試ニ英倫並ニ阿爾蘭ノ下
賤ナル人民ヲ以テ兩國中ノ上等級ノ者ニ比較
セハ直ニ其相貌大ニ異ナルヲ覺ユ
遠キ海外ノ地ニ殖民セルモノモ亦外貌變化ス
ルノ例トナス可キモノ多シ例ヘハ英國ヨリ米
利堅洲ニ移住シタル者ノ子孫ノ容貌ハ英國人
民一般ノ容貌トハ著シキ相違ヲ顯セリニユウ、ソ
ース、ウエールスノ演太利部ニ移住シタル歐羅巴人ノ

子孫ハ其祖先ヨリモ身躰齊セテ身ノ長高ク筋
骨ノ力寡シ英國ヨリ西印度ニ移住シタル人ノ
子孫ヲ見ルニ其外貌次第ニ變化ス即英國ノ人
民ヨリハ頰骨高ク起リ兩眼深ク沉ミテ米利堅
大地ト諸島トニ住居スル土人ノ相貌ニ稍近似
セリ其相貌ニ於テ斯ル變化ヲ生ズル所以ハ蓋
熱帶ノ日光酷烈ナルカ故ニ眼力ヲ保護セン為
ナルベシ又「クレオルス」「西印度等ノ地ニ生レタル英人ノ子孫ハ英
人ニ較レバ皮膚稍冷氣ヲ帶テ眼力鋭ク關節柔
カナリ又合衆國ニ住スル阿弗利加人ノ子孫ハ

三四代ヲモ經タル後ニハ漸次ニ其生國人民ノ外貌ヲ失ヒ白皙人種ノ容貌ニ近似スト云フ即チ口小ク鼻高ク毛髮長ク其皺縮稍輕ク眼ニ光澤ヲ生スル等是レナリ

外部ノ模樣變ズレバ外貌モ亦隨テ變スルノ事實ハ人類以下ノ動物ニ於テモ亦之レアリ就中家畜ニハ其例甚多シ而ソ家畜中最モ著シキ者ヲ犬狗ト為ス夫レ世界中犬狗ノ種類極メテ多シト雖ドモ悉ク同一種族ノ變化ニ過ギサルナリ然ルニ其形狀、毛色天性、習慣等ニ於テ相同カラザルモ

恰モ諸人種ノ相異ナルガ如シ蓋シ犬狗ノ外貌ニ感ズル所ノ外部ノ力（食物住居等ヲ云フ）ハ他ノ動物ヨリモ人類ニ感スル所ノモノニ甚タ類似セリ又羊ヲ熱帶ノ地ニ移ストキハ其美麗ニシテ稠密ナル毛ハ次第ニ消失シ遂ニ薄キ毛皮ノミヲ保ツニ至ルキュバ島ノ豚ハ元来歐羅巴ノ種ナレドモ當時ハ其大歐洲ノ豚ヨリモ殆ト二倍セリパラグワ國ノ野馬モ亦歐羅巴ノ種ナレドモ當時ハ一種ノ固有ナル毛色ヲ生スルニ及ベリ蓋シ此變化ハ其土地ニノミ限リタル一種ノ模樣ヨリ起リシモノ

ナルベシドクトル、プリチャルド氏云フ是等ノ事實並ニ同種類ノ事ヲ熟考スルトキハ左ノ如キ判斷ヲ為サヾルヲ得ズ曰ク凡ソ動物ニハ自然ノ定則アリテ各地固有ノ模様ニ應ゼンガ為其身躰ノ仕組種々ニ變化スルモノナリ此動物ノ一條愈真實ナラバ其外貌ノ諸變化ハ必ス數代ノ間外部ヨリ働ク所ノ感力ニ由テ起リシモノナリ然ラハ則チ此事實ヲ以テ人間起源同一ノ說ヲ證スルニ足ルベシ而シテ亦各地ノ人民一種固有ノ外貌ヲ具スルハ固ヨリ當然ノ理ニシテ決シテ意外ノ事ニアラサルヲ知ルナリ是ニ因テ之ヲ觀レハ言語瑣細ノ區別皮膚或ハ毛髮ノ色鼻口或ハ頭顱ノ形狀等ヲ以テ十分ナル證據ト為シ人類ニ區別ヲ立ルハ其不適當ナルヿ實ニ甚シト云フベシ

總論

人類身躰ノ模様及ヒ其交際上ノ躰裁ニ付テ既ニ記載シタル百般ノ事實ヲ考察スルトキハ凡ソ人タル者ハ皆大ニ改正進歩ヲ為スベキ性質ヲ具フルヿ判然タリ人ノ初テ此世ニ生ルヽヤ他ノ動

物ニ較ブレハ甚ダ孱弱ニシテ自カラ助ルノ力ナキ者ナリ若シ其自然ニ任セテ苟モ智識ヲ開クヿナケレハ成長スルニ及テ一野蠻ノ人トナルヲ免レス然レモ世界中最モ無智陋悪ト稱スル人民ヲ見ルニ何レモ多少ノ才智ヲ顯ハサヾル者ナク且其平生ノ為ス所他ノ動物ノ決シテ及バサル所ナリ蓋シ人ノ萬物ニ長タル所以ハ他ナシ他ノ動物ニ比スレバ其頭顱即チ考思ノ機關ノ割合甚大ナルヿ言語ノ機關ヲ具スルヿ人立シテ歩行スルヿ四足ヲ用ヰテ歩行スル者ニ對ス及ビ両手ノ仕組極メテ巧ミナルヿヨリ起ルモノナリ又教育等ニ據テ其天賦ノ才智ヲ發達スルトキハ何ニ限ラス事物ノ跡ヲ追テ其根元ヲ推究シ自己ノ實驗ヲ他人ニ口授スルヲ得ルノミナラズ又其實驗ノ本末並ニ千態萬狀ナル自己ノ見込ヲモ精密ニ記載シテ之ヲ後世ニ傳フルヲ得ルナリ故ニ各箇ノ世必ス前代ヨリ實驗ノ利益ヲ受ケテ愈其知識ヲ廣メ益ス其道德ヲ修メ遂ニ開化文明極高ノ地位ニ達シ隨テ其身躰ノ仕組迄古昔蒙昧ノ中ニ生活セシ時ト比スルトキハ大ニ強壯美麗ニ變ズルナ

リ凡ソ無智野蠻ノ民其進デ開化文明ノ域ニ入ル者皆上ノ順序ヲ履マザルハナシ

人ハ天命ニ由テ禽獸ノ職分トハ雲泥ノ差アル至重至大ノ職分ヲ務メシメンガ為ニ此世界ニ生セシ者ニ疑ナシ抑他ノ動物ニ於テハ昔ヨリ今ニ至ル迄何等ノ事ニ付テモ尚更ニ開化ニ進ミシコトモナク向後ト雖モ蓋シ其創造ノ時ヨリ占ムル所ノ卑シキ位地ヲ離ルヽ能ハザルベシ

ラウレンス氏曰ク上ノ事實ニ由テ考フレハ人ハ實ニ卓越獨歩ノ動物ト稱スベシ其才能及ビ之レヲ實地ニ施シテ成就セシ所ノ事業能ク人ヲシテ他ノ動物ト懸隔セシム然シテ余等既ニ知ル所ノ動物ニ於テ未タ此中間人類ト禽獸トノ間ヲ云フ地ヲ占ハベキ者ナシ猿ノ人ニ似タルモ象ノ殆ト物理ヲ悟ルモ犬ノ馴レ易キモ海狸ノ伶俐ナルモ蜂ノ勉強ナルモ若シ之ヲ人ニ比スルトキハ其差啻ニ細々ナラス是等ノ動物ハ其一個ニ付テ之ヲ論スルモ亦其一種族ニ付テ之ヲ論スルモ古今其品格ニ於テ聊カナリトモ進歩シタル例ヲ見ザルモノナリト

假令人類ノ最下劣ナル者尚夏ニ禽獸ノ上ニ位スト雖モ若人ノ人タル所以ノ職分ヲ盡サント欲セハ開化ニ赴クベキ相當ノ道ヲ履マザル可カラス然ラザレバ極メテ憫然タル無智野蠻ノ有様ニ止マルナリ夫レ人ハ廣大ナル此世界ニ生レ其表面ニ生産シテ盡クルヿナキ萬物ヲハ自由ニ資テ以テ其日用便利ヲ達スルノ權ヲ持シ何事ニ限ラス自カラ為シテ自カラ其責ニ任スベキ筈ノ者ナレバ能ク勉強活發ニシテ暫時モ怠ルヿナク古ノ貴重ナル位地ヨリ生スル所ノ利益ヲ充分ニ收納セントト欲スルハ實ニ人タル者ノ職分ト云フベシ若右ノ如ク世ノ改正進歩ヲ裨クベキ大道ヲ履ミ苟モ怠惰ニ陷ルヿナケレバ次第ニ文明開化極高ノ位地ニ登リ萬世不朽ノ功業ヲ顯ハスヲ得ルナリ然レトモ既ニ此位地ニ達シ苟モ其心ヲ安ジテ修德開智ノヿニ注意セザレハ恐クハ以前ニ進ミシヨリモ一層急速ナル割合ヲ以テ再ヒ舊ノ無智野蠻ナル有様ニ陷ルヿ必然ナリ

若前説ノ真確ナルヿヲ證セントト欲セハ特ニ古

今ノ歴史ニ注意スルヲ要ス歴史中ニハ文明開化ノ始メテ起リ漸ク盛ニシテ終ニ衰ヘ結局消滅ニ及ヒシ先例其数實ニ寡カラス或ハ又一旦伐リ平グタル深林ノ跡ヘ新ニ培植セシ稚樹ノ如ク一種ノ人民アリテ昔時文明ノ人民曾テ絶大ノ事ヲ行ヒシ舊地ヲ占メ此舊民ノ始メテ起リシ時ト同様ニ千辛萬苦ノ勤勞ヲ累ネ無智野蠻ノ有様ヨリ次第ニ文明開化ニ進ミ人ノ人タル職分ヲ盡サンヿヲ企望スルモノ往々之レアリ聖經ノ記載及ヒ地質上ノ諸發明ニ據テ考フレハ人ハ必ス諸動物ノ中ニテ最モ後ニ生セシモノナリ然レトモ太古正史ノ未タ世ニ顯ハレサル以前既ニ人民ノ興廢存亡セシモノ屢々之レアリ廣ク國々ニ散布シタル種々ノ遺物ヲ見テ之ヲ知ルベシ譬ヘハ亜細亜洲ニ於テハ雕刻術並ニ建築術ヨリ成レル種々ノ遺物アリ其起源ト意味トニ至テハ世人知ル所ノ最モ古キ人民モ之ヲ知ルモノナク今世ノ古學者モ之ヲ見テ唯茫然タルノミ又米利堅洲北方及ヒ中央ノ地方ニ於テモ大古ノ洪大ナル遺物並ニ藝術上ヨリ成レル所ノ物品多

クヽアリ就中ミスシッピー河ノ近傍ニ於テハ丘陵堡砦ノ類最モ多ク其形狀大小種々ニシテ一樣ナラズ是等ノ遺物ハ其起源甚ヽ曖昧タリト雖ヽ方今米利堅洲ニ住スル土人ヨリモ遥ニ開化シタル人民ノ手ニ成レルヿハ明カナリ此簡畧ニシテ不充分ナル人躰史ニ於テ尚一事實ノ記載スルヲ要スルモノアリ即左ノ如シ東西ノ両半球ニ於テ存在スル太古ノ遺物及世上ノ歴史ニ據テ考フルニ凡ヽ人タルモノハ其總躰ヨリ之ヲ見ルモ身躰ノ仕組ニ於テ昔人ニ劣リタルヿナク又其一人ニ付テ之ヲ見ルモ身躰ノ大小躰力ノ強弱ニ於テ昔人ト異ナルヿナシ然ルニ其心智ノ有樣ニ付テ之ヲ論ズレハ當時ノ文明開化ト稱セラルヽ人民ニ於テハ昔人ノ遠ク及バザル極高ノ地位ニ達シタリ

内村耿之介　校

人種篇下終

定價金三拾錢

百科全書篇名

星學 二冊
地質學 二冊
氣中現象學 二冊
理科地理學 二冊
植物生理學 二冊
植物綱目篇 四冊
動物生理學 附人身生理学 一冊
動物綱目篇 八冊
物理學 二冊
重學 附器械之理 二冊
動靜水學 附氣學 二冊
光學 附音學 二冊
越歷 附亮尔華尼磁石力 越歷多露磁石力 二冊
時學 附時計 二冊
化學 二冊
百工應用化學 二冊
陶磁製造篇 二冊
織工篇 二冊
礦山學 附金石 二冊
金類篇 附冶金術 二冊
蒸氣機 二冊
土木術 二冊
陸運篇 二冊
水運篇 二冊
建築學 二冊
暖室篇 附通風通光 二冊

給水篇（附溝渠ノ事）　二冊　農學（附荒地種藝方　鍬鋤耕作方）　四冊　菜園篇　二冊
花園篇　二冊　果園篇　二冊　養樹方　二冊
馬　二冊　家畜篇（附乳汁採方）　二冊　羊（附山羊、白靈羊）　二冊
豚（附兎、食用之鳥、籠鳥）　二冊　蜜蜂篇　二冊　犬（附狩獵）　二冊
釣魚篇　二冊　漁獵篇　二冊　養生篇　二冊
食物篇　二冊　食物製方（附割烹）　二冊　醫學篇　二冊
衣服篇（附服式）　二冊　人種之說　二冊　言語篇　二冊
交際篇（附禮体）　二冊　法律之沿革事體　二冊
太古史　二冊　希臘史　二冊　羅馬史　二冊
中古史　二冊　英國史　二冊　英國制度國資　二冊

海陸軍制　二冊　地誌（改羅巴）　二冊　地誌（英倫、威勒斯）　二冊
地誌（蘇格蘭）　二冊　地誌（愛倫）　二冊　地誌（亞細亞、附東印度）　二冊
地誌（亞非利加、附大洋群島）　二冊　地誌（北亞米利加）　二冊　地誌（南亞米利加、附西印度）　二冊
人心論　二冊　骨相說　二冊　明理學　二冊
造化妙用說（附人道學）　二冊　西洋經典緣起（附基督教說）　二冊
洋教宗派之說　二冊　回教（附印度教、佛教）　二冊
蘇干地那威神學（附諸小派）　二冊　歲時記　二冊
備身論　二冊　接物論　二冊　經濟論　二冊
貿易論（附貨幣バンク）　二冊　戶籍（附救貧法ライフ、ヒヤ、ヒヤ）　二冊　百工儉約訓　二冊
國民統計學　二冊　教導說　二冊　英吉利文法　二冊

算術 附代數學 三冊　幾何學 二冊　畫 附彩色彫刻 二冊

體操 附戶外遊戲方 二冊　戶內遊戲方 二冊　古物學 二冊

善論學 二冊　刷板術 附石板術 二冊　彫刻術 附寫真術 二冊

家事儉約訓 二冊

通計九十二篇　二百冊

官版御書籍發兌

江戸神宮前
山中市兵衛
京寺町通二丁目
稲田佐兵衛
出雲寺萬次郎